

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	36-001	
PDCA	事務事業名	安定供給事業	部課等名	水道部 上水道課 工務担当	担当 内線等	山本 493	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち					
		節： 第3節 生活環境の向上					
		基本施策： 1. 水道					
		単位施策： (1) 水道の安定供給					
	根拠法令等	水道法第1条、半田市水道事業給水条例					
	対象・目的	配水管網を整備してブロック化(区域の分割)することで、市内全域において一定の水量・水圧を確保する。また、災害や事故発生時には、ブロックごとに断水区域を限定することで影響範囲を最小限とし、早期の復旧、給水開始が可能となる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	ブロック化に基づく管路網を考慮した上で、道路改良事業や分譲地など新たな需要が見込まれる地域での配水管布設や、下水道や土地区画整理など他事業の実施に伴う配水管移設及び布設工事を実施する。また、漏水等に伴う修繕工事を実施することで有収率の向上を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①給・配水管維持修繕工事	97	98	75	件	
		②配水管のブロック化工事	0	0	0	m	
		③配水管布設延長	2587	265	373	m	
		事業費	142,347	42,514	42,795	千円	
		人件費	1,150	11,546	13,881	千円	
		総事業費	143,497	54,060	56,676	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①道路改良事業に伴う配水管布設1m当り布設コスト	35,230	0	0	円/m		
	②分譲地給水工事に伴う配水管布設1m当り布設コスト	83,228	72,367	65,866	円/m		
	③土地区画整理事業に伴う配水管布設1m当りコスト	66,828	37,596	50,032	円/m		
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①配水管ブロック化整備率(※乙川中部土地区画整理事業との調整により、令和元年度以降の実施となる。)	実績値	92.2	-	-	%
			目標値	92.2	-	-	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B 配水管のブロック化(区域の分割)では、乙川中部土地区画整理事業の進捗に合わせて実施する必要があり、同事業の進捗により令和2年度以降の実施予定となった。土地区画整理事業や分譲地など新たな需要が見込まれる地域での配水管布設では、将来を見据えた管種、口径を選定して実施した。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 配水管のブロック化については、乙川中部土地区画整理事業者と早期完了できるよう綿密に調整していく。高度経済成長時代に整備された施設や管路が更新時期を迎えていることから、ブロックをさらに細分化した管路網整理による改築更新計画や施設の適正な維持管理により延命化を図る計画等を令和2年度までに策定していく。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①配水管ブロック化整備率(※乙川中部土地区画整理事業との調整により、令和2年度以降の実施となる。)	—	%		